

# 施策評価調書

## 1 施策の概要

(1)	施策名	配慮を必要とする家庭への支援／ひとり親家庭等で配慮を必要とす					
(2)	総合計画の体系	第	03	章	健康で安心して暮らせるまちづくり		
		第	01	節	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
		第	33	細節	配慮を必要とする家庭への支援／ひとり親家庭等で配慮を必要とす		
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		27年度決算額	28年度決算見込額	29年度予算額	
		事業費(A)		1,426,894	1,440,408	1,530,419	
		従事職員数		4.20 人	4.05 人	4.10 人	
		所要人件費(B)		33,766	32,000	33,015	
		総事業費(A+B)		1,460,660	1,472,408	1,563,434	
		財源内訳	収入	国庫支出金	402,128	410,489	455,797
				府支出金	86,972	86,166	100,900
				その他	16	13	23
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	320	0	0
一般財源	971,224			975,740	1,006,714		

## 2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	27年度実績	28年度実績	29年度計画
指標内容	児童扶養手当支給件数(年間延べ件数)	目標値 (単位:件)	31,641.00	31,282.00	31,278.00
		実績値 (単位:件)	30,819.00	30,832.00	
目標値の積算方法	過去の実績に基づく	達成度(%)	97.4	98.6	
指標内容	ひとり親家庭医療費助成件数(年間延べ件数)	目標値 (単位:件)	84,399.00	89,889.00	71,718.00
		実績値 (単位:件)	80,922.00	90,468.00	
目標値の積算方法	過去の実績に基づく	達成度(%)	95.9	100.6	

## 3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

配慮を必要とする家庭への効果的な支援として、就業支援など自立支援事業を強化し、必要な経済的支援を実施することが、今後とも重要である。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	ひとり親家庭自立支援事業	子育て給付課	00270	なし	大	20	18	18	18	18	92	継続
2	児童扶養手当給付事業	子育て給付課	00265	なし	大	20	18	18	16	20	92	継続
3	市外母子生活支援施設入所事業	子育て給付課	00269	なし	大	18	20	18	16	18	90	継続
4	ひとり親家庭医療費助成事業	子育て給付課	00273	一部	中	16	14	20	18	20	88	拡充
5	母子福祉センター事業	子育て給付課	00267	なし	中	18	18	14	18	16	84	継続
6	交通遺児手当支給事業	子育て給付課	00271	全部	小	12	18	16	16	16	78	継続
7	遺児手当支給事業	子育て給付課	00272	全部	小	12	18	16	16	16	78	継続
8	診断料助成事業(児童扶養手当分)	子育て給付課	01292	全部	小	14	18	16	14	14	76	継続
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		自立支援の取組を重点的に実施しながら、必要な経済的支援を補完的に行っていくことが重要と考えました。										